

丹波医療センター活動報告

丹波地域の中核病院として、
世界標準の医療を提供します。

養成医師7年目
清水 健史

県養成医メンバー

●前期派遣医

3年目 園田 育未 (総合診療 自治医大) 宮下幸一 (産婦人科 神戸大)

4年目 今井 貞之 (整形外科 神戸大)

5年目 千田 有紗 (内科 神戸大) 森内航生 (産婦人科 自治医大)
楠原達樹 (外科 神戸大)

後期研修医

6年目 藤川 萌恵美 (総合診療 神戸大) 藤原 稜 (総合診療 自治医大)

7年目 清水 健史 (総合診療 兵庫医大)

後期派遣医

8年目 京谷 萌 (総合診療 自治医大)

初期研修医

1年目 有川 裕貴 (兵庫医大) 富田 裕之 (兵庫医大)

山泉 琴音 (自治医大) 布田大志 (神戸大学)

2年目 阿野 悟士 (岡山大) 平尾 勇介 (神戸大)

松浦 泰葉 (神戸大) 田口 真理子 (神戸大)

地域医療教育センター

見坂 恒明 先生 (自治医大2000年卒) 合田 建先生 (非養成医 9年目)

丹波地域

大阪・神戸から車で
約1.5時間

丹波医療センター

丹波

丹波篠山



人口(令和3年6月)

- ・丹波市 62701人
- ・丹波篠山市 40512人

丹波地域の中核病院

外来は臓器別の専門診療あり
入院は臓器別に分れることなく診療
“**とかいなか**”で**世界標準の医療の提供**を目指しています。

(電車の場合)

JR福知山線石生駅下車(徒歩20分)

(バス、タクシー有り)

(車の場合)

舞鶴若狭道 丹南篠山ICより北へ約20分

春日ICより南へ約10分

京都・大阪・神戸から車で

約1.5時間

⇒都会に近い田舎 “**とかいなか**”

地元の名産・観光



ぼたん鍋



イノシシ



丹波の黒まめ



丹波松茸



丹波栗



ヒメホタル



丹波竜のちーたん



織田家 城下町柏原

県立丹波医療センター

ミルネ診療所



入院診療
救急研修
小児科研修

訪問診療
外来診療

兵庫県立丹波医療センター初期臨床研修プログラム

ローテーションモデル

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	丹波医療センター											※1	
年次	内科(26週)						外科(9週)		小児科(4週)	産婦人科(4週)	救急科(5週)	精神科(4週)	
2	※2	丹波市 ミルネ	丹波医療センター						丹波医療センターまたは 協力型病院				
地域医療													
年次	一般外来(2週)	一般外来(2.5週)	救急科(9週)		内科(9週)		院内選択(9週)		選択科目(18週)				

※1 精神科研修先は、県立ひょうごこころの医療センター

※2 地域医療研修先は、杉原谷診療所、けやきクリニック、青垣診療所の内1施設で行う

※3 地域医療研修は、※2や丹波市ミルネ診療所で一般外来を含めて研修します。

選択科目研修は県立丹波医療センター研修の他、研修協力病院が県立病院群で構成されており幅広い選択が可能

県立病院群：尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、ひょうごこころの医療センター(精神科)、こども病院、がんセンター、姫路循環器病センター、粒子線医療センター(放射線治療)、災害医療センター(救急救命)、兵庫県リハビリテーション中央病院・兵庫県リハビリテーション西播磨病院(リハビリテーション)、社会医療法人製鉄記念広畑病院、粒子線医療センター附属神戸陽子線センター

* 2年次の選択科目は1年次11月に開催される県立病院群説明会の後に希望を提出

後期研修プログラム 基幹病院

- 内科専門研修プログラム
- 兵庫県地域医療総合診療専門医プログラム
- 新家庭医療専門医プログラム
- 病院総合診療専門医プログラム



一般的な入院診療

+ 救急

2次・3次

+ 小児科

+ 診療所

人間ドック・検診

予防接種などの一次予防

保健所との連携 保健指導

+ 訪問診療

多様な面でのアプローチ

垣根のない内科で様々な疾患が経験可能

→ 小病院やどんな診療科勤務となっても活かせる経験の蓄積



令和3年度の診療

丹波医療センター

- 内科外来患者数 24448人
- 外科外来患者数 28873人
- 整形外科外来患者数 6724人
- 産婦人科外来患者数 8009人
- 救急車搬送患者数 2415人
うち入院 (1257人)
- 内科入院患者数 3780人
- 外科入院患者数 655人
- 整形外科入院患者数 809人
- 産婦人科入院患者数 338人

ミルネ診療所

外来診療

- 外来受診者数7380人
- コロナウイルスワクチン接種 2609人

訪問診療

- 訪問診療実施数 560件
- 往診 105件

ミルネ診療所取り組み

- 令和1年度の在宅看取り12件→令和2年度 18件。

令和3年度は27件。

- 丹波地域は、介護療養型医療施設が充実し在宅での看取りの文化がほとんどない。
- 丹波健康福祉事務所や丹波市、地元新聞社とも協働して、在宅死という選択肢の広報・提示する活動を行っている。
- また在宅死を見越した自宅療養の受け入れとしての訪問診療をさらに充実させていく予定である。

	死亡場所が自宅の割合
全国	13%
兵庫県	17% (全国トップレベル)
丹波市	12.4% (内ミルネ在宅看取りは2%に該当)



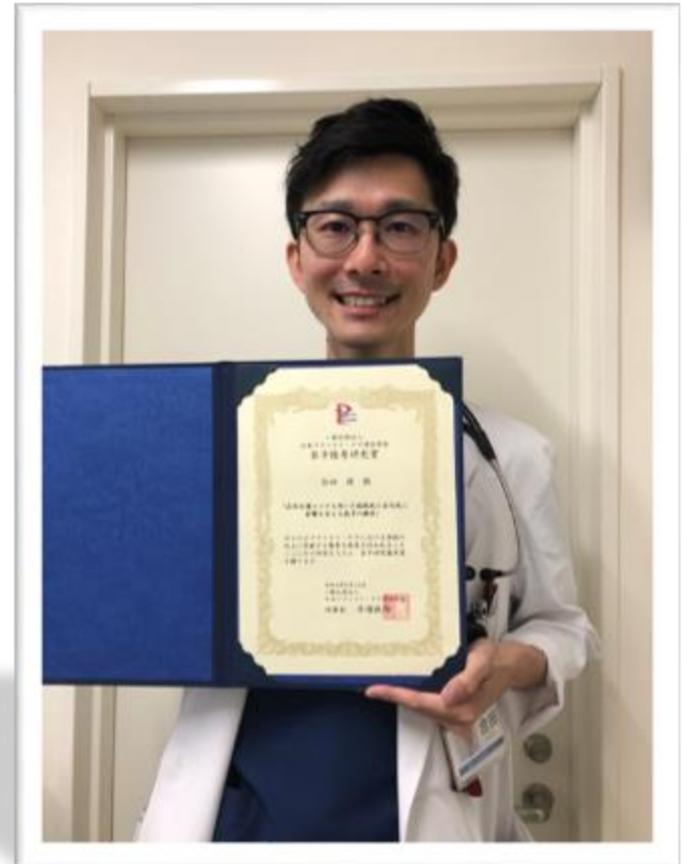
ミルネ診療所取り組み

「A Preliminary Questionnaire Survey Regarding
Health Care Visits by Non-native Patients in Tamba City」

Noel D Hauser 先生/藤川 萌恵美 先生

「在宅介護スコアを用いた
病院死と在宅死に
影響を与える因子の検討」

→ **プライマリ・ケア連合学会 若手奨励賞**
合田 建 先生



丹波市の保健福祉の取り組み

- ミルネ2階 丹波市健康部地域医療課
- ミルネ3階 子ども発達支援センター

市の保健師さんと連携して地域医療の貢献に尽力しています。

2021年度は・・・

- **認知症予防事業に講義で参加**
- **健診で要医療ではないが要指導のある方への栄養士と共同で行う生活習慣病の料理教室を含んだ講義**



ケアマネージャーとの多職種勉強会



丹波市の保健福祉の取り組み

2022年度は

- **医師と丹波医療センターおよびミルネ診療所栄養士との連携**
- ACPの重要性を地域に根差そう
- 高齢者の支えあいの支援
- 地域的に医療へのアクセスが遠い方、在留外国人への理解と支援

引き続き、

- ケアマネージャーとの勉強会
- 認知機能研究に参加
- 栄養指導教室での講義



丹波医療センター取り組み

地域とのつながり

➡毎月1回住民への健康講話

2021年	テーマ案
10月	「子宮頸がんワクチンのお話」 産婦人科 辻
11月	「あなたの骨は（大）丈夫ですか？」 整形外科 戸田
1月	「小児の熱性けいれん～けいれん時にあわてないために」 小児科 市川
2月	「脱腸脱腸～股の付け根に違和感はありませんか？～」 外科 小泉



全診療科で地域活動に参加します。

コロナ診療にも尽力しています

丹波医療センター

- COVID19感染症病棟として
一般病床 19床 HCU 2床確保
- 2021/4～2022/3までで、313名が入院
(うち重症患者 29名)
- CCCの要請など丹波圏域外からの入院が171名で、
県内で最も他地域からの患者を受け入れている！

ミルネ診療所

- PCR検査 115件 陽性者数 19名

- 学会発表や論文作成などもご指導をいただきながら積極的に進めています。

「多剤併用によるミルクアルカリ症候群を来した1例」

→ 第23回日本病院総合診療医学会学術総会

育成症（優秀演題賞）

水谷 直也 先生



- 総合診療プログラムでは毎週月

WebカンファレンスやZoomを用いた振り返りなど手厚いご指導をいただいています。

関連病院へ前期・後期派遣となった場合にも非常に安心。



県立丹波医療センター 外科活動報告

	月	火	水	木	金
午前	術前カンファレンス 病棟	手術	術前カンファレンス 病棟	手術	外来
午後	病棟 入院患者カンファレンス	手術 消化器カンファレンス	病棟	手術	外来

- ・ 消化器外科は5人体制、専攻医が2人で平日夜間のオンコールを二人で分担
- ・ 対象患者：手術、外傷、化学療法など
- ・ 今年は開業医からの紹介や検診胃カメラなどで発見される胃がんが多い
- ・ 外来は術後フォローや術後補助化学療法が大半
- ・ 日直 or 当直は 2~3回/月（土日）
- ・ 平日のオンコールは開業医からの紹介に対応できるように20時まで院内待機

産婦人科の魅力



• 他の科にはない 「生命の誕生」

• 内科的要素と外科的要素

- 若年者の 月経困難症
- 中高年の 更年期障害
- 老年期の 子宮脱



など女性ライフスタイル全てが対象

産婦人科活動報告

専攻医2人(医師3,5年目)

- 丹波市唯一の分娩施設
- 分娩数： 300件/年
- 手術件数： 250件/年
- 業務：主治医制 & 当番医制
(休日夜間は当番医が病棟・救急業務を担当)
- 日当直：月 5-7回、オンコール：月 10回
- NCPR受講可

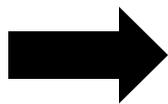
整形外科 活動報告

- ・救急外来外科当番：2回/週 ・日直・当直：平均4回/月
- ・オンコール：15日/月 程度+適宜 救急外来対応

☆経験症例（4～6月）

大腿骨近位部骨折（頸部/転子部）、橈骨遠位端骨折、
上腕骨近位部骨折、鎖骨骨折、脛腓骨骨幹部骨折、手指骨骨折、
踵骨骨折、変形性膝・股関節症（人工関節置換術）、
肘関節脱臼 etc…

☆脆弱性骨折に対する骨粗鬆症治療介入

 外来・入院診療・手術などを通して数多くの症例
の診療を経験することができています

「やぶ医者大賞」を見坂先生が 受賞しました！

へき地医療に長年貢献した名医である
「やぶ医者」を称える全国規模の表彰です。
「やぶ医者大賞」を見坂恒明先生が
兵庫県医師として初めて受賞されました。





ライフスタイルにあわせて働いておられる先輩方、
女性医師の先輩・後輩も多くいて過ごしやすいです。
より働きやすい、学びやすい環境になっていっています。

今後とも地域に様々な形で貢献していきます。